

II. 調査結果

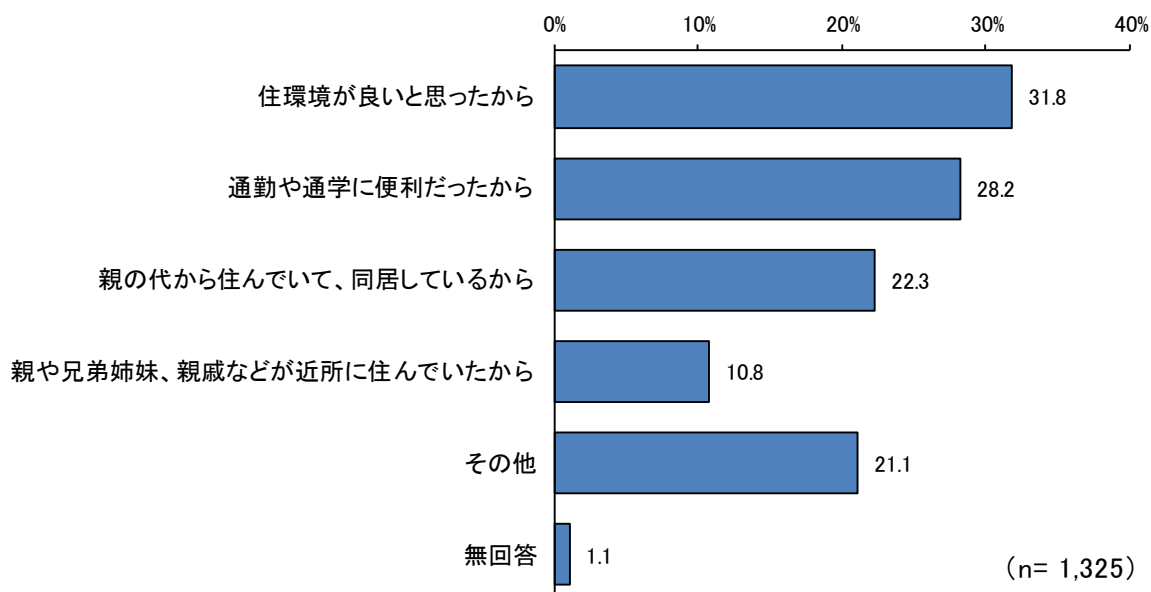
1. 「中区居住理由・居住意向、中区の魅力」について

「問7 中区に住むようになった理由」(複数回答) - 1

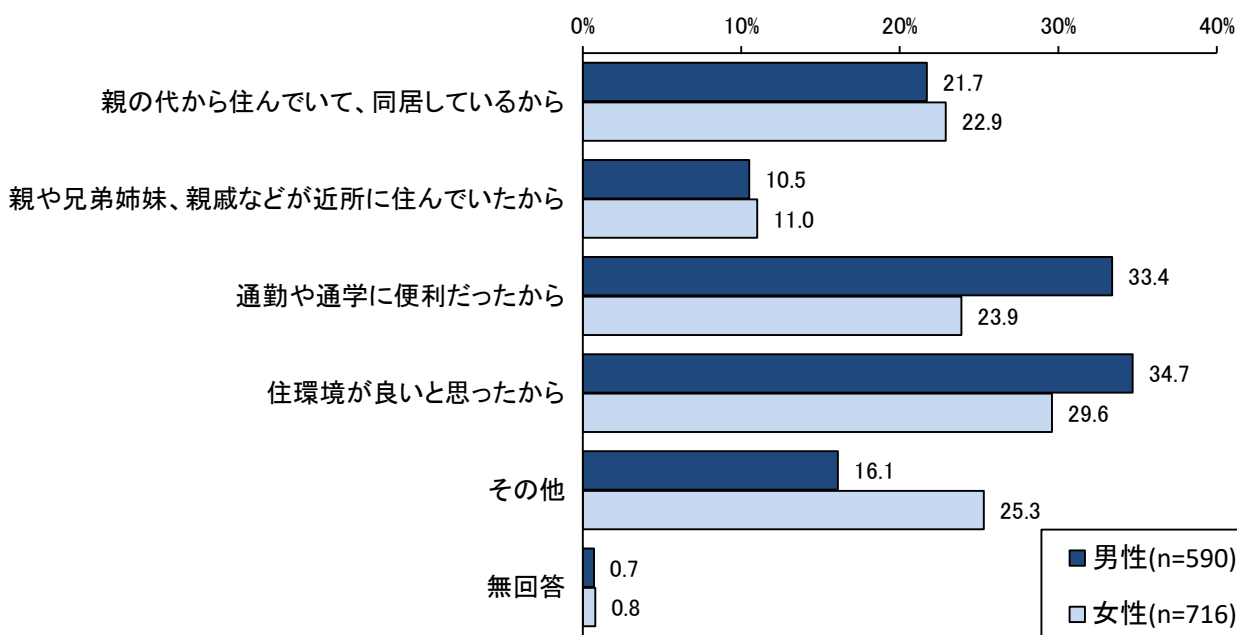
中区に住むようになった理由については、「住環境が良いと思ったから」が最も高く、次いで「通勤や通学に便利だったから」「親の代から住んでいて、同居しているから」の順となっている。

「その他」の内容としては、“結婚を機に”“仕事の関係で”“横浜らしさを感じられるから”などの回答がみられた。

性別にみると、「住環境が良いと思ったから」「通勤や通学に便利だったから」は男性の方が女性より高くなっている。



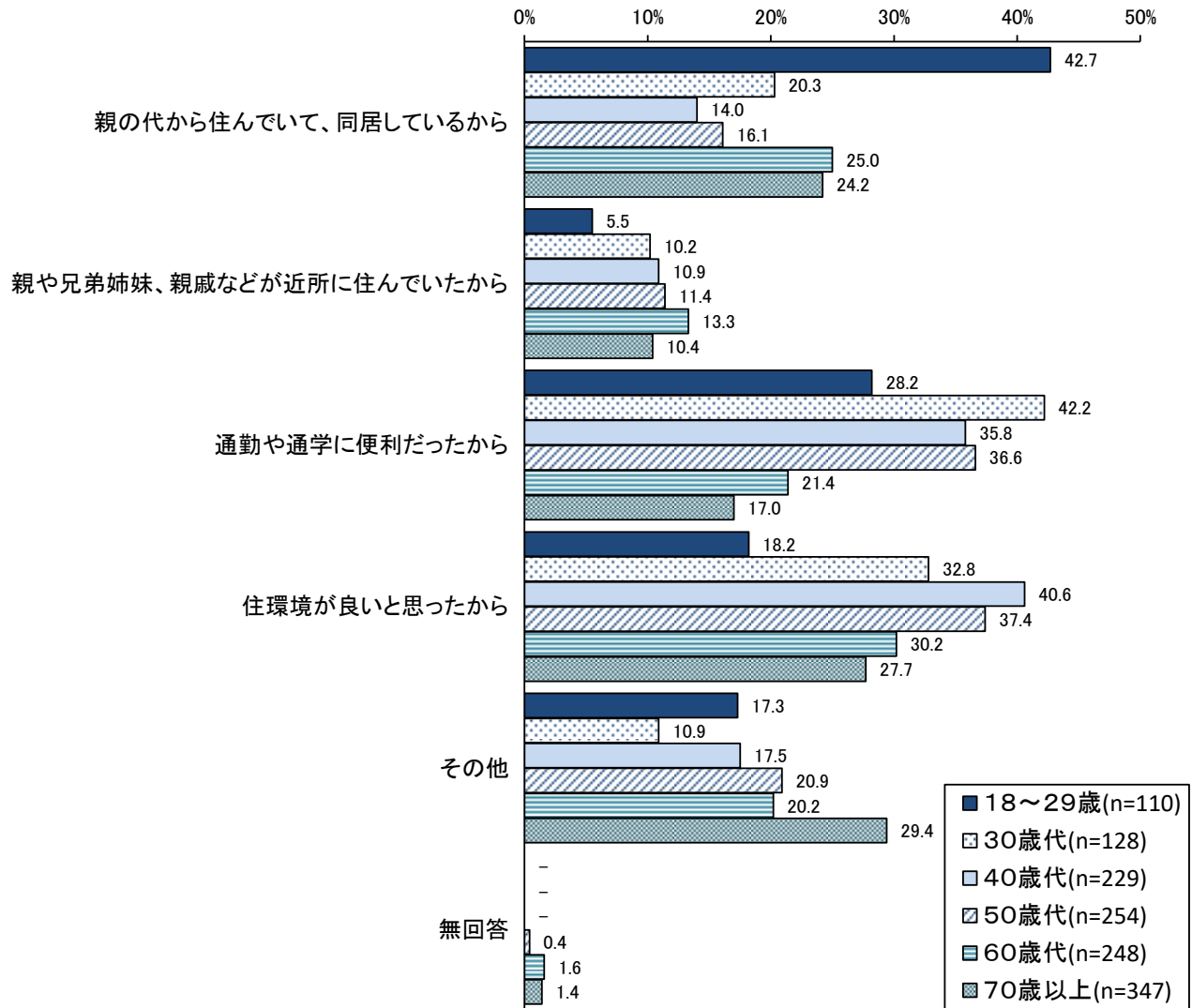
【問7_性別】



「問7 中区に住むようになった理由」(複数回答) - 2

年代別にみると、18~29歳では「親の代から住んでいて、同居しているから」、30歳代では「通勤や通学に便利だったから」、40歳代では「住環境が良いと思ったから」が最も高くなっている。

【問7_年代別】



「問7 中区に住むようになった理由」(複数回答) - 3

地区別にみると、B地区で「通勤や通学に便利だったから」が5割近くと特に高くなっている。L地区・G地区では「住環境が良いと思ったから」が4割を超え高くなっている。

【問7_地区別】

		(%)					
	n=	て親、の同代居かして住んでから	かど親らがや近所姉妹、で親戚たな	た通勤や通学に便利だった	か住環境が良いと思った	その他	無回答
全体	1,325	22.3	10.8	28.2	★31.8	21.1	1.1
A地区(第1北部地区)	78	26.9	12.8	★35.9	14.1	21.8	-
B地区(第1地区中部のうち、長者町を除く)	106	17.0	9.4	★49.1	16.0	19.8	0.9
C地区(関内地区)	44	-	6.8	34.1	★38.6	29.5	2.3
D地区(埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く)	84	6.0	6.0	34.5	★36.9	27.4	1.2
E地区(寿地区のうち、扇町・長者町を除く)	27	11.1	7.4	18.5	18.5	★40.7	11.1
F地区(石川打越地区)	39	25.6	17.9	30.8	★38.5	17.9	-
G地区(第2地区)	167	17.4	10.8	32.3	★40.7	19.2	0.6
H地区(第3地区のうち、滝之上を除く)	218	30.3	10.1	25.7	★39.0	15.6	-
I地区(第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)	109	★29.4	17.4	17.4	27.5	20.2	-
J地区(第4地区北部のうち、山手町を除く)	53	32.1	5.7	11.3	18.9	★35.8	3.8
K地区(本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)	194	★27.8	10.8	26.8	27.3	21.6	0.5
L地区(第6地区のうち、山手町を除く)	115	23.5	13.0	23.5	★45.2	12.2	-
M地区(新本牧地区)	81	13.6	8.6	21.0	★33.3	28.4	-

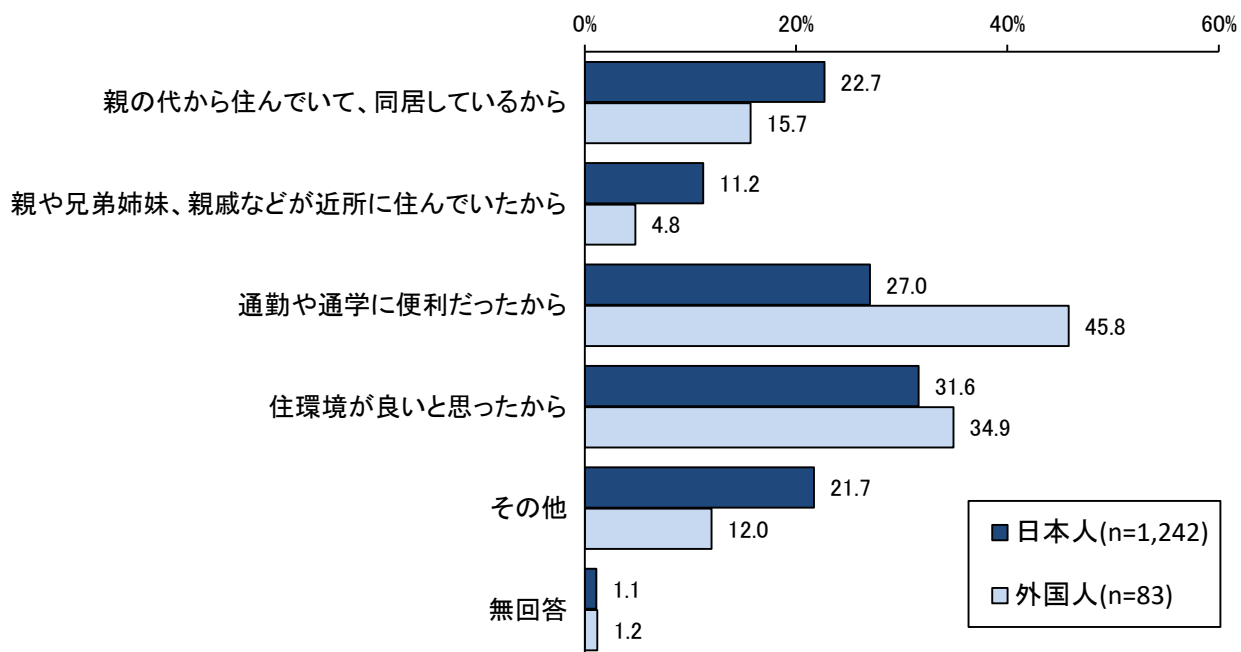
<注釈> (以降の地区別数表も同様です。)

- ・居住地区別の地区割りの詳細は、3ページをご覧ください。
- ・★は、全体および地区毎で最も高い割合の項目を示しています。
- ・網掛け箇所は、項目別の上位3地区を示しています。

「問7 中区に住むようになった理由」(複数回答) - 4

日本人/外国人別にみると、外国人では「通勤や通学に便利だったから」が4割半ばと日本人に比べて特に高くなっている。

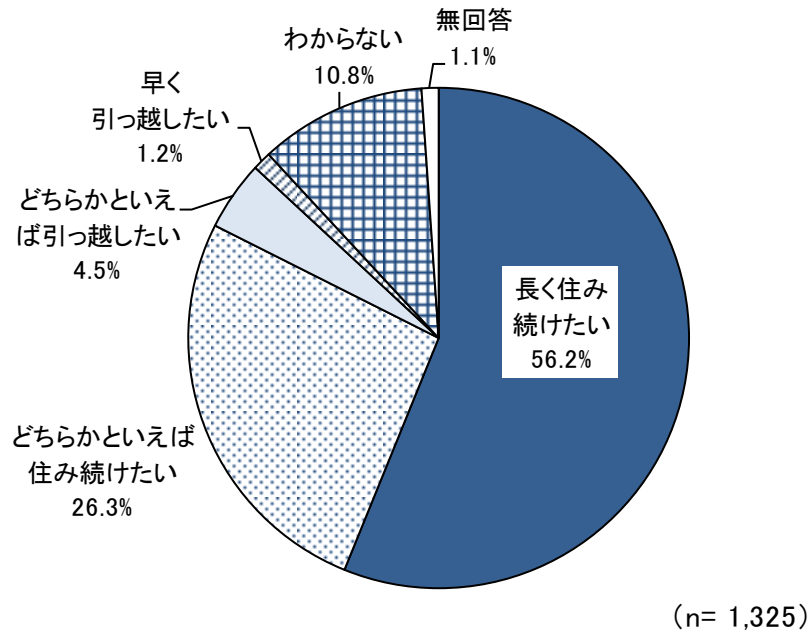
【問7_日本人/外国人別】



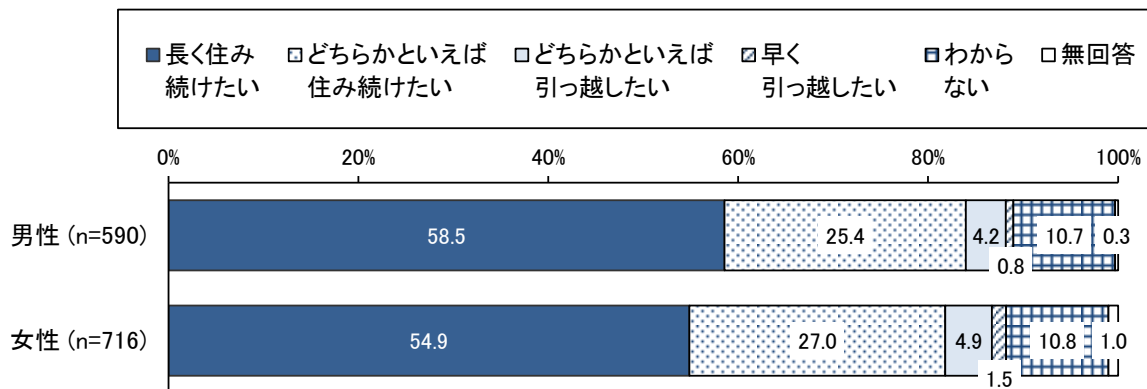
「問 8 中区居住意向」 - 1

中区に住み続けたいと思うか尋ねたところ、「長く住み続けたい」が5割半ばと半数を超えている。「どちらかといえば住み続けたい」は2割半ばで、これらを合わせると**8割以上**の人が中区に住み続けたいという意向を持っている。

性別にみると、「長く住み続けたい」は男性のほうが女性より**やや**高くなっている。



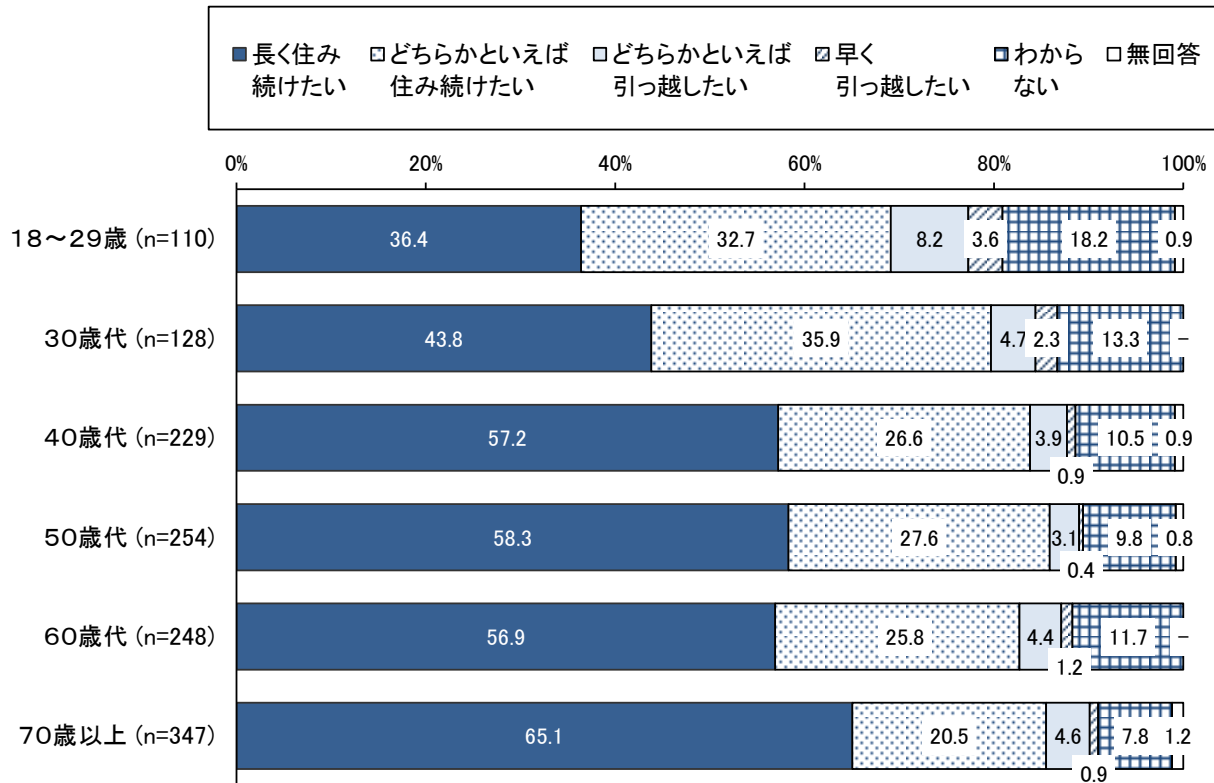
【問 8_性別】



「問 8 中区居住意向」 - 2

年代別にみると、「長く住み続けたい」は40～60歳代で5割台後半、70歳以上では6割半ばと高くなっている。一方、18～29歳では3割半ばで他の年代に比べ低いものの、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は7割近くにのぼっている。

【問 8_年代別】



「問 8 中区居住意向」－ 3

地区別にみると、「長く住み続けたい」はC地区が7割近くで最も高く、次いで、J地区、G地区の順となっている。「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、大半の地区で8割を超えている。

【問 8_地区別】

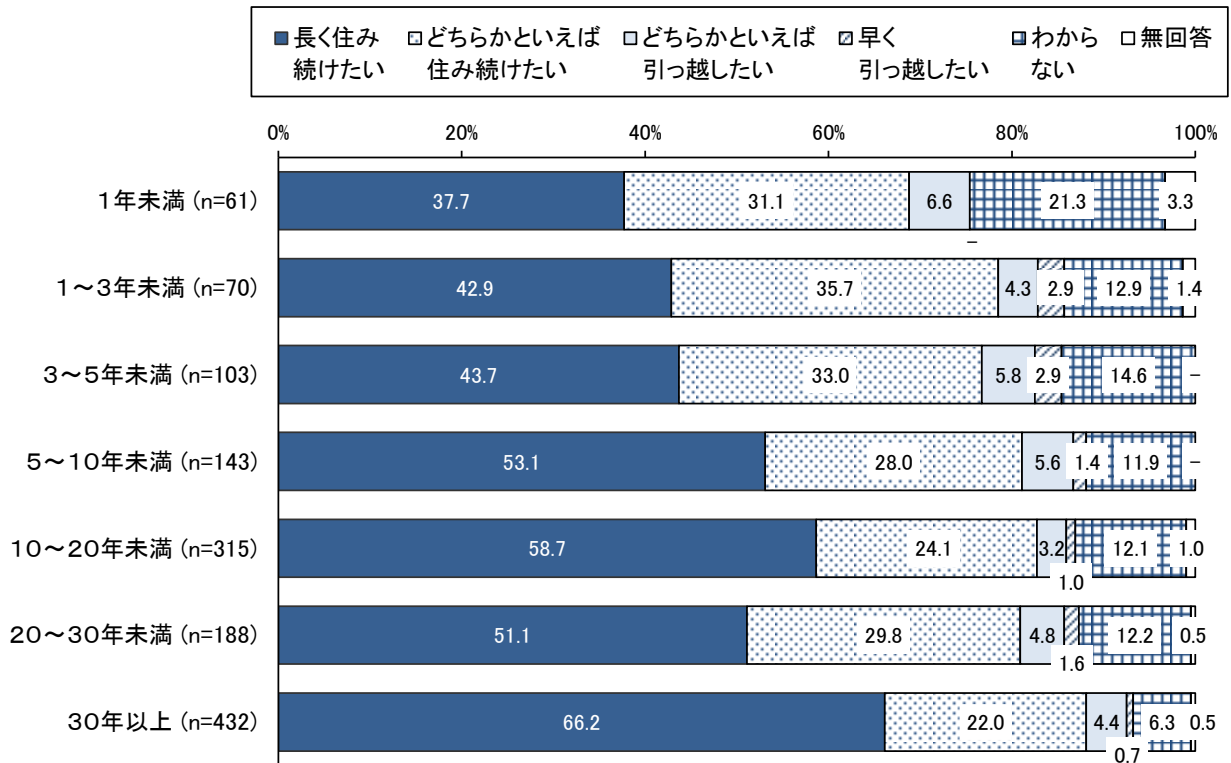
		(%)						
	n=	長く住み続けたい	住み続けたい	どちらかといえば	どちらかといえば	早く引越したい	わからない	無回答
全体	1,325	★56.2	26.3	4.5	1.2	10.8	1.1	
A地区（第1北部地区）	78	★48.7	24.4	10.3	1.3	15.4	-	
B地区（第1地区中部のうち、長者町を除く）	106	★52.8	25.5	6.6	-	15.1	-	
C地区（関内地区）	44	★68.2	20.5	2.3	4.5	4.5	-	
D地区（埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く）	84	★57.1	22.6	8.3	2.4	8.3	1.2	
E地区（寿地区のうち、扇町・長者町を除く）	27	★37.0	11.1	22.2	3.7	22.2	3.7	
F地区（石川打越地区）	39	★53.8	35.9	-	-	10.3	-	
G地区（第2地区）	167	★63.5	22.8	0.6	-	12.0	1.2	
H地区（第3地区のうち、滝之上を除く）	218	★58.7	28.4	3.2	1.4	7.8	0.5	
I地区（第4地区南部のうち、本牧荒井を除く）	109	★56.0	29.4	3.7	1.8	9.2	-	
J地区（第4地区北部のうち、山手町を除く）	53	★64.2	20.8	1.9	1.9	11.3	-	
K地区（本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く）	194	★55.7	26.3	4.1	1.0	11.3	1.5	
L地区（第6地区のうち、山手町を除く）	115	★57.4	25.2	7.0	-	9.6	0.9	
M地区（新本牧地区）	81	★45.7	37.0	2.5	2.5	12.3	-	

「問 8 中区居住意向」 - 4

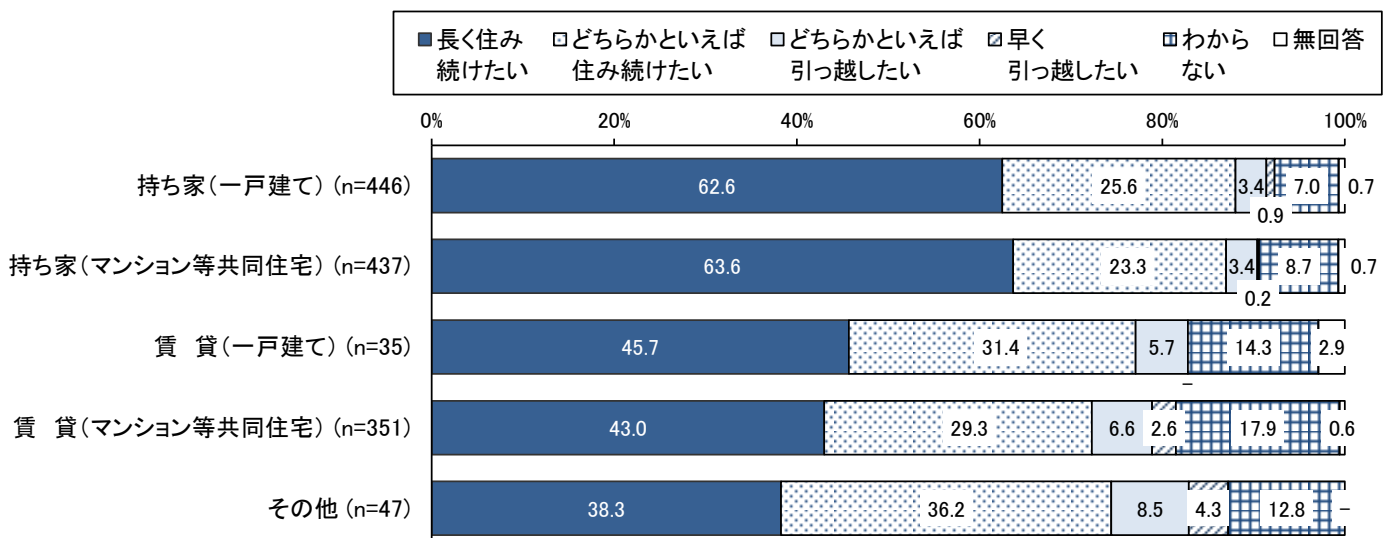
居住年数別にみると、「長く住み続けたい」は**おおむね**居住している年数の長い人の方が割合が高くなっている。

居住形態別にみると、「長く住み続けたい」は持ち家居住者で6割強、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は8割台後半と高くなっている。賃貸居住者でも、「長く住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は7割を超えている。

【問 8_居住年数別】



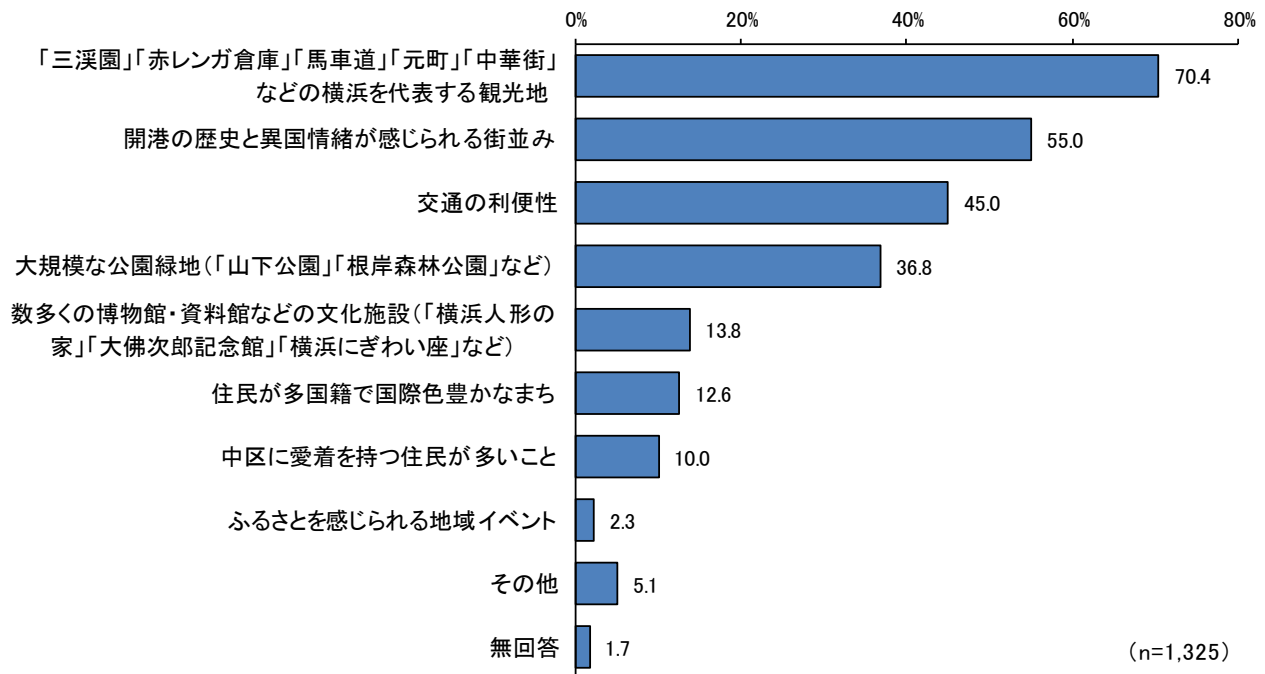
【問 8_居住形態別】



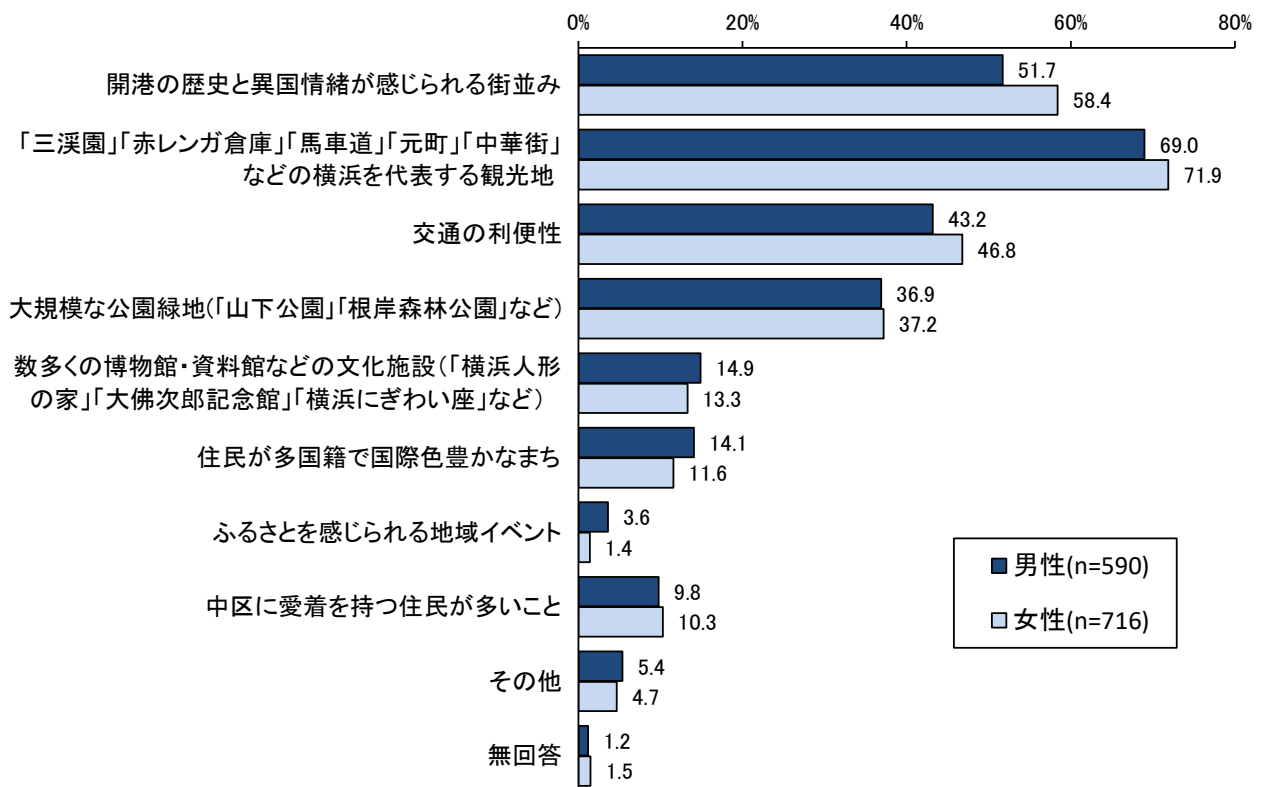
「問 13 知人・友人に誇れる中区の魅力」（3つまで回答）－ 1

知人・友人に誇れる中区の魅力を尋ねたところ、「三溪園」「赤レンガ倉庫」「馬車道」「元町」「中華街」などの横浜を代表する観光地が約7割で最も高くなっている。次いで、「開港の歴史と異国情緒が感じられる街並み」が5割半ば、「交通の利便性」が4割半ばで続いている。

性別にみると、前述の上位3項目はそれぞれ女性の方がやや高くなっている。



【問 13_性別】



「問 13 知人・友人に誇れる中区の魅力」（3つまで回答）－ 2

年代別にみると、「三溪園」「赤レンガ倉庫」「馬車道」「元町」「中華街」などの横浜を代表する観光地は50歳代以下の年代では7～8割台と高くなっているが、60歳代・70歳以上ではそれぞれ6割台、5割台とやや低くなっている。「交通の利便性」については、70歳以上が5割を超え最も高くなっている。「住民が多国籍で国際色豊かなまち」は18～29歳が2割半ばで最も高くなっている。

【問 13_年代別】

